

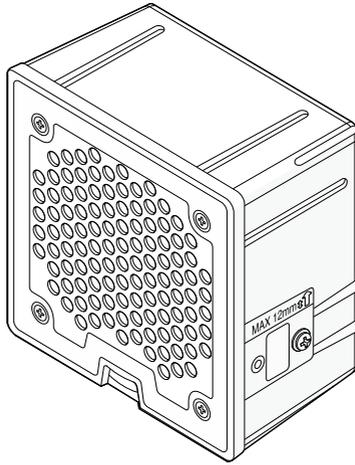
Panasonic®

取扱説明書

工事説明付き

スピーカーマイクロホン

品番 WX-CS460



保証書別添付

- このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(P.5～10ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

はじめに

商品概要

- 本機はパナソニックのワイヤレスコミュニケーションシステムと組み合わせて使用するオーダーポスト専用のスピーカーマイクロホンです。スピーカーとして、またはマイクロホンとして使用できます。
- 様々なオーダーポストに設置可能な小型薄型形状でありながら、エンジンなどの騒音下でのコミュニケーションが明瞭に行える音質を実現しました。
- 付属の取付金具とウレタンフォームを使って、様々なオーダーポストに簡単に設置できます。

付属品をご確認ください

取付金具	2個
取付ねじ (M5×15)	2個
風防	1個
本体／取付金具用ガスケット	1セット
ウレタンフォーム1、2	本機の梱包材として付属 プラグコネクター
(本機のソケットコネクターに差し込まれた状態で梱包)	1個
取扱説明書 (本書)	1冊
保証書	一式

免責について

弊社はいかなる場合でも以下に関して一切の責任を負わないものとします。

- ①本商品に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
- ②お客様の故意や誤使用、不注意による損害または本商品の破損など
- ③お客様による本商品の分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず、発生した一切の故障または不具合
- ④本商品の故障・不具合および設定・設置の誤りを含む何らかの理由または原因により、運用ができないことで被る不便・損害・被害
- ⑤第三者の機器と組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
- ⑥取付方法の不備など、本商品の不良によるもの以外の事故に対する不便・損害・被害

もくじ

はじめに

商品概要.....	2
付属品をご確認ください.....	2
免責について.....	3
安全上のご注意.....	5
使用上のお願い.....	11
各部の名前とはたらき.....	12
本体.....	12
付属品.....	13

設置

設置上のお願い.....	15
本機の設置.....	18
取付金具を使用した設置例.....	21
ウレタンフォームを使用した設置例.....	24
配線のしかた.....	26
本機への配線.....	26
ケーブル.....	27
接続時の注意点.....	27
設置後の確認.....	28

その他

故障かな!?.....	29
仕様.....	30
外観図.....	31
保証とアフターサービス.....	33

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告

不安定な場所に置かない



禁止

落下や転倒によるけがや事故の原因となります。

定期的に点検する



金具やねじがさびると、落下によるけがや事故の原因となります。

- 点検は、販売店に依頼してください。

 **警告**

ねじやボルトは指定されたトルクで締め付ける



落下によるけがや事故の原因となります。

振動する場所に取り付けない



禁止

振動で金具が破損し、落下によるけがや事故の原因となります。

スピーカーや金具に異常があったら放置しない



禁止

長期にわたって放置すると、各部の劣化が進み、落下によるけがや事故の原因となります。

- 直ちに販売店に連絡してください。

油の付着しやすい場所に設置しない



禁止

取付部が劣化し、落下によるけがや、事故の原因となります。

質量に耐える取り付けをする



落下や転倒によるけがや事故の原因となります。

- 十分な強度に補強してから取り付けてください。

地震後は必ず点検する



本体取付部が損傷し、落下の原因となります。

- 必ず販売店に依頼してください。

警告

専用の取付金具を使用する



落下によるけがや事故の原因となります。

- 設置の際は、専用取付金具を使用してください。

異物を入れない



禁止

水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。

- 直ちにスピーカーケーブルを抜いて、販売店に連絡してください。

分解しない、改造しない



分解禁止

落下によるけがや事故の原因となります。

- 必ず販売店に依頼してください。

異常があるときは、すぐ使用をやめる



煙が出る、においがするなど、そのまま使用すると火災の原因となります。

雷のときは工事、配線をしてはいけない



禁止

火災や感電の原因となります。

可燃性ガスの雰囲気の中で使用しない



禁止

爆発によるけがの原因となります。

 **警告**

塩害や腐食性ガスが発生する場所に設置しない



禁止

取付部が劣化し、落下によるけがや事故の原因となります。

取り付けた状態での部品交換は行わない



禁止

部品の落下の危険性があり、事故の原因となります。

落下防止対策を施す



落下によるけがの原因となります。

変形した取付金具・損傷した外郭部品を使って本機を設置しない



禁止

落下の危険性があり、事故の原因となります。

外郭部にひびや割れが発生した場合は、使用をやめ取り外す



落下の原因となります。

- 必ず販売店に依頼してください。

使用しなくなった、あるいは使用不可になった場合、放置せずに取り外す



種々の部品の腐食により、落下の原因となります。

- 必ず販売店に依頼してください。

注意

工事は販売店に依頼する



工事には技術と経験が必要です。けが、器物破損の原因となります。

- 必ず販売店に依頼してください。

無理な力を加えない



禁止

取付部が破損し、落下によるけがや事故の原因となります。

磁気メディアを近づけない



禁止

磁気記録メディアを近づけると、情報が消えます。

廃棄は専門業者に依頼する



燃やすと化学物質などで目を痛めたり、火災、やけどの原因となります。

センターモジュールの電源を入れたまま工事配線をしてはいけない



禁止

けがの原因となります。

ケーブルは引っ張らない



禁止

けがの原因となります。

注意

ケーブルを傷つけない



禁止

重いものを載せたり、はさんだりすると、ケーブルが傷つき、けがの原因となります。

振動や強い衝撃を与えない



禁止

けがの原因になります。

配線は正しく行う



ショートや誤配線により、けがの原因となります。

使用上のお願い

 **警告**  **注意** に記載されている内容とともに、以下の事項をお守りください。

使用温度範囲は

- -20°C ～ $+50^{\circ}\text{C}$ です。この温度範囲以外で使用すると、故障または誤動作の原因となります。

お手入れは

- 電源を切ってから行ってください。けがの原因になります。
- お手入れは必ず乾いたやわらかい布をご使用ください。
- シンナーやベンジンなど、揮発性のものは使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

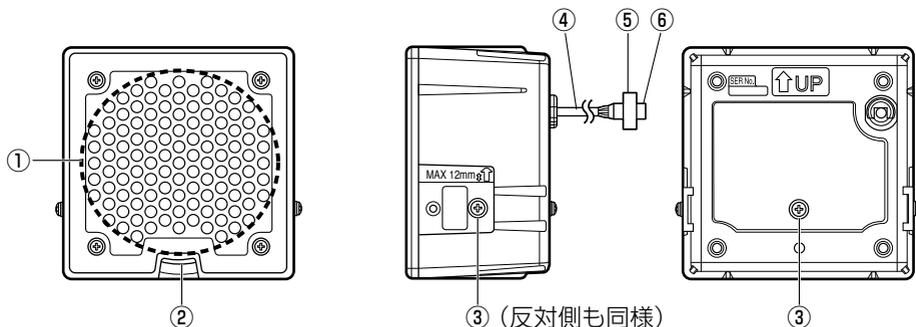
使用しない場合は

- 使用しない場合は放置せず、必ず販売店に依頼して撤去してください。

各部の名前とはたらき

本体

スピーカーとして、またはマイクロホンとしての使用が可能です。
オーダーポスト内にスピーカー用とマイクロホン用を各1台設置します。



①音孔

②水抜き穴

③取付ねじ (3本)*

④入力ケーブル

⑤ソケットコネクター

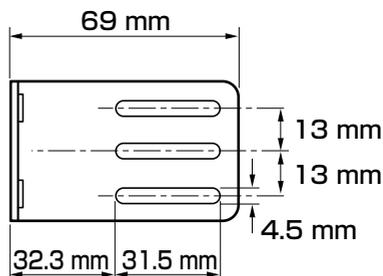
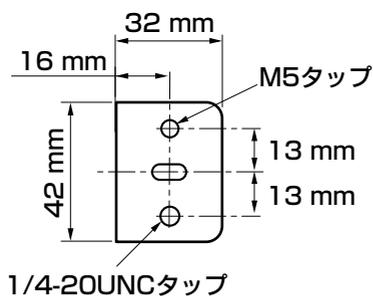
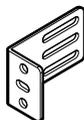
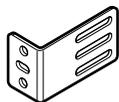
⑥プラグコネクター (付属品)

※音漏れを防ぐため、取付金具を使用しない場合もこのねじは外さないでください。また、長さ12 mm以上のねじを挿入しないでください。

付属品

●取付金具 (2個)

オーダーポストへの取り付けに使用します。取り付け面には、取付ねじ用のM5タップの他にインチねじ1/4-20UNCタップが配置されています。



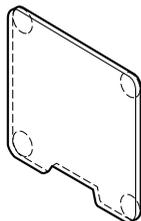
●取付ねじ (2本)

オーダーポストへ取り付けるためのねじ (M5×15 mm) です。



●風防

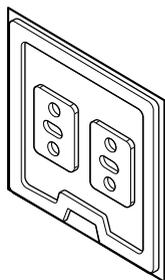
本機をマイクロホン用として設置する場合に使用し、風切り音を低減します。



各部の名前とはたらき（つづき）

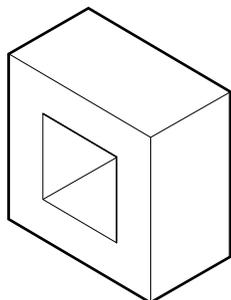
●本体／取付金具用ガスケット

本機の前面をオーダーポストに密着させ音漏れを防ぎ、振動の伝達を軽減します。



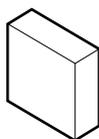
●ウレタンフォーム1、2（本機の梱包に使用されている緩衝材です）

オーダーポスト内への設置に使用します。また、オーダーポストに伝わる振動の伝達を軽減します。



ウレタンフォーム1

幅 220 mm 高さ 220 mm 奥行き 120 mm



ウレタンフォーム2

幅 113 mm 高さ 113 mm 奥行き 40 mm

設置上のお願い



- 工事は必ず販売店に依頼してください。
工事を行う前に、「安全上のご注意」をよく読んでその指示に従ってください。接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。

設置工事は電気設備技術基準に従って実施してください。

本機はオーダーポスト専用です

雨や日光を避けるため、オーダーポストなどの構造物内部に設置してください。（本機前面の音孔部は雨や日光の耐久性を考慮しています。）

- 強い振動や衝撃を受ける場所
- 磁気の影響を受けやすい機器や物質の近くには設置しないでください。その機器が破壊したり、正常に動作しない可能性があります。

工事は電源を入れないで行ってください

取り付け場所について

- 取り付け先の構造には十分な強度があって、平らであることを確認してください。
- 以下の場所には設置しないでください
 - 直射日光のあたる場所や温風吹き出し口の近く
 - 高湿度の場所は、火災の原因になります。
 - 可燃性ガスの発生する場所は爆発を引き起こす可能性があります。
 - 腐食性ガスが発生する場所はスピーカーが落下する恐れがあります。
 - 油の付着しやすい場所はスピーカーが落下する恐れがあります。

設置工事について

- パナソニック ワイヤレスコミュニケーションシステム以外との組み合わせでは使用しないでください。
- 安全のため、十分な落下防止対策を施し、必ず定期的に保守点検を行ってください。点検は、販売店に依頼してください。

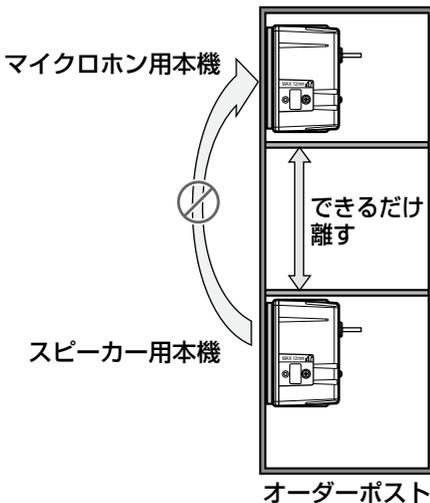
安全にお使いいただくために

- 落下防止ワイヤーなど、落下を防止するための部品は備えていません。高さ1.5 m以上の高い場所には取り付けしないでください。
- オーダーポストなどへの取付場所は、本機の重量に十分耐える耐荷重強度があることを確認してください。本機の重量は1.2 kg（取付金具含む）です。

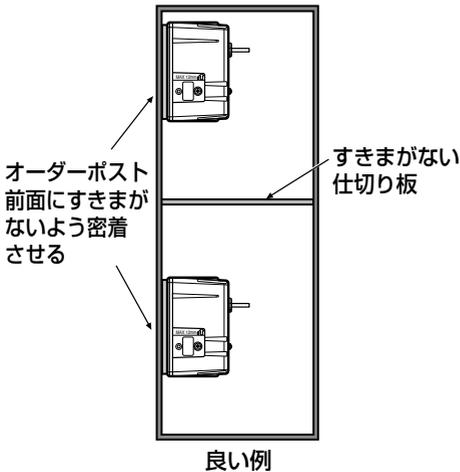
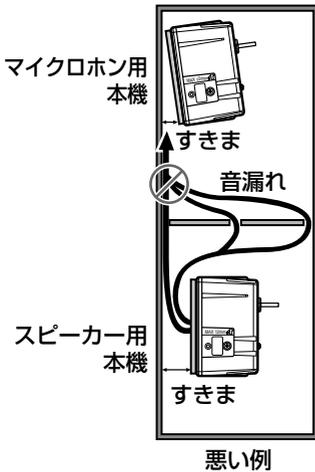
設置上のお願い（つづき）

明瞭な音質で使用するために

- 双方向通話を行うには本機が2台必要です。1台はマイクロホン用として、もう1台はスピーカー用として使用します。
- 設置するオーダーポストは、振動して雑音が鳴ったり不要なビビリ音を出さないしっかりとした構造であることを確認してください。必要に応じて補強や防振対策を施してください。
- スピーカー用とマイクロホン用は、できるだけ離して設置してください。距離が近すぎると、ハウリングを起こしたり、スピーカー用からの音をマイクロホン用が拾い、雑音の原因となります。



- スピーカー用からの音がオーダーポスト内に漏れ、マイクロホン用がオーダーポスト内の音を拾うと、ハウリングや不要な響きを誘発し、音質を損ねる原因となります。
- オーダーポストの開口は、本機の音孔よりも大きく開け、本機の音孔がすべて開口におさまるように設置してください。ただし、本機外形よりは小さく開けてください。
- オーダーポストの開口にメッシュネットやパンチングネットを使用する場合は、開口率ができるだけ大きい材料を使ってください。
- 本機はオーダーポスト前面に隙間なく密着させてください。
- オーダーポスト内でスピーカーの音がマイクロホンの側に漏れないよう、隙間のない仕切板などで遮音してください。



ねじやボルトの締め付けについて

- ねじやボルトは指定されたトルクで締め付けてください。

過度に締め付けると、ねじ山が破損し落下の原因になります。また、低いトルクで締めるとねじの緩みの原因になります。

- 締め付けの際にトルクを指定するため、トルクドライバーを使用してください。

トルクドライバーはトルク指定を行える範囲に制限があります。指定された推奨トルク値を参考にして、適切なトルクドライバーを使用してください。トルク管理が難しいインパクトドライバーや電動ドライバーは、ねじやボルトの破損の原因になりますので、使用しないでください。

- ねじやボルトはまっすぐ締めてください。

締めたあとは、目視にて、がたつきがなく、しっかりと締められていることを確認してください。

故障を防ぐために

- コネクターには水がかからないようにしてください。入力ケーブル先端のコネクターには防水加工を施していません。
- 本機内部に水がたまるのを防ぐため、本機を上向きに傾けて設置しないでください。
- 必ずパナソニック製のワイヤレスコミュニケーションシステムと組み合わせ使用してください。

その他

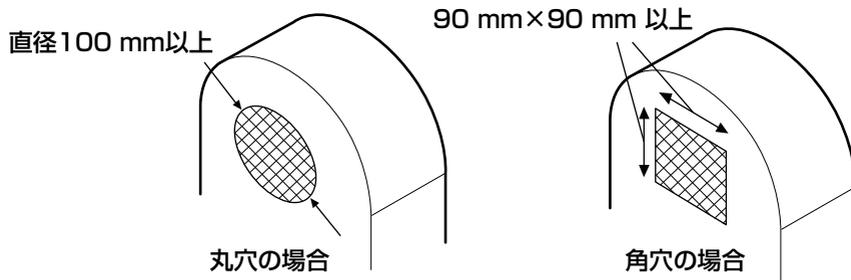
- 磁気の影響を受けやすい機器や、磁性材料のそばには設置しないでください。

本機の設定

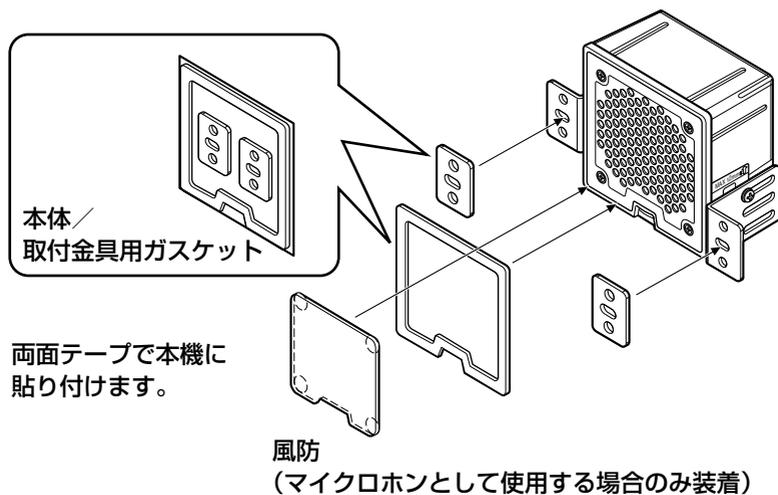
- 以下の説明は、有資格者が作業を行うためのものです。感電を防ぐため、設置に関わる作業は、有資格者が行ってください。
- オーダーポスト内の下部にスピーカー用、上部にマイクロホン用を設置してください。
- オーダーポストの開口は、スピーカーマイクロホンの音孔よりも大きく開け、スピーカーマイクロホンの音孔がすべて開口におさまるように設置してください。ただし、本機外形よりは小さく開けてください。

丸穴の場合：直径100 mm以上

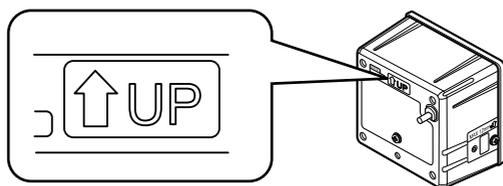
角穴の場合：90 mm×90 mm以上



- 必要に応じてガスケット（付属品）を本機に貼り付けてください。オーダーポストと本機を密着させ、オーダーポスト内部への音漏れを軽減することができます。
- 必要に応じて風防（付属品）を本機（マイクロホン用のみ）に貼り付けてください。風切り音を軽減することができます。
- 十分な音響性能を確保する為、「明瞭な音質で使用するために」に記載の内容にしたがって設置してください。（[P.16](#)ページ）

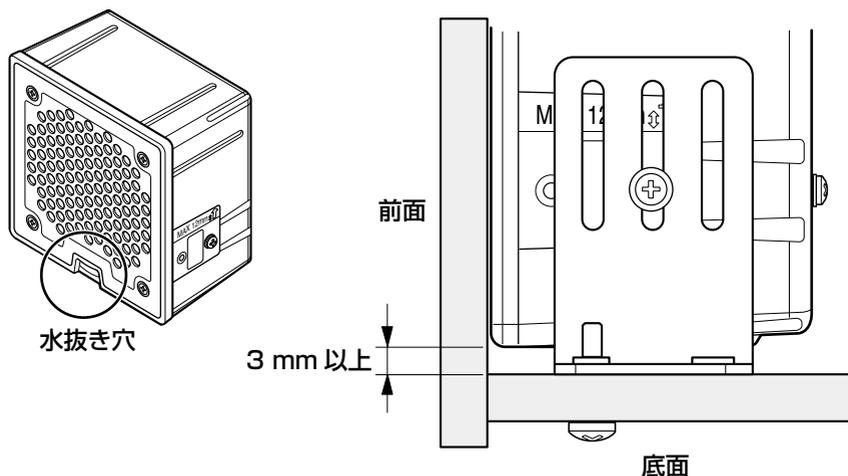


- 本機は前面下側に水抜き穴があるため、後面のUPマークが上向きになるように設置してください。



本機の設置（つづき）

- 本機前面下側にある水抜き穴をふさがないように設置してください。本機を設置する際、前面または底面どちらかをオーダーポストに密着して設置しても水抜き穴はふさがりません。ただ、前面と底面の両方を密着させて設置すると水抜き穴がふさがってしまうので、その場合は、水が底面に抜けるように本機を3 mm以上浮かせて設置してください。ウレタンフォーム（付属品）を使って設置する場合は、ウレタンフォームを通して水が抜けるため、この処置は不要です。

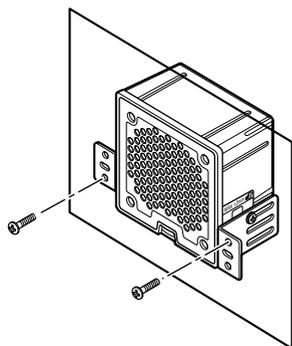


- ガスケットや風防は長期使用により劣化します。定期的な点検を行い交換してください。点検・交換は販売店にご依頼ください。

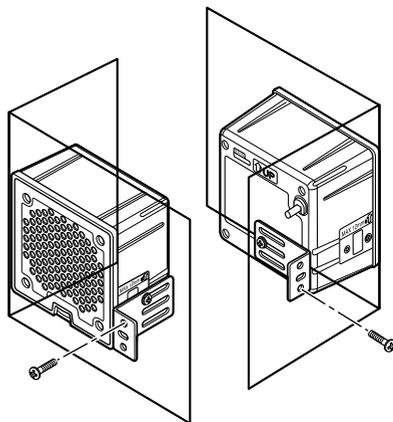
取付金具を使用した設置例

本機は取付金具を使用して以下のように設置できます。

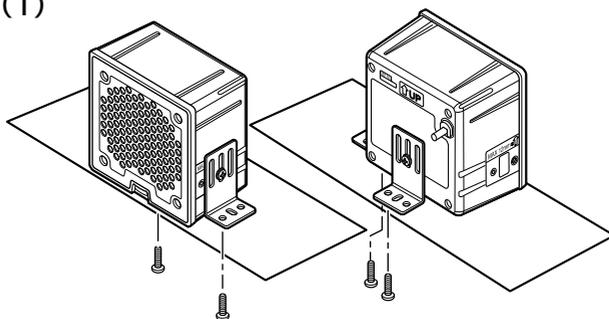
前面からねじ止めする場合



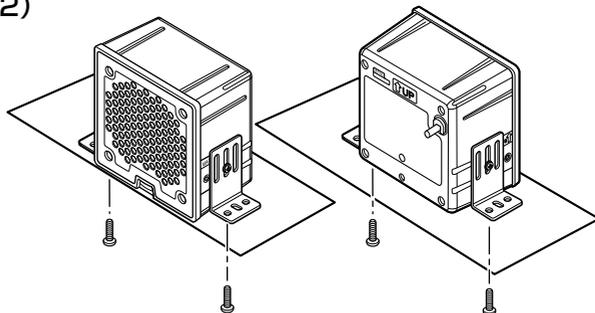
前面と側面からねじ止めする場合



底面からねじ止めする場合 (1)



底面からねじ止めする場合 (2)



本機の設置 (つづき)

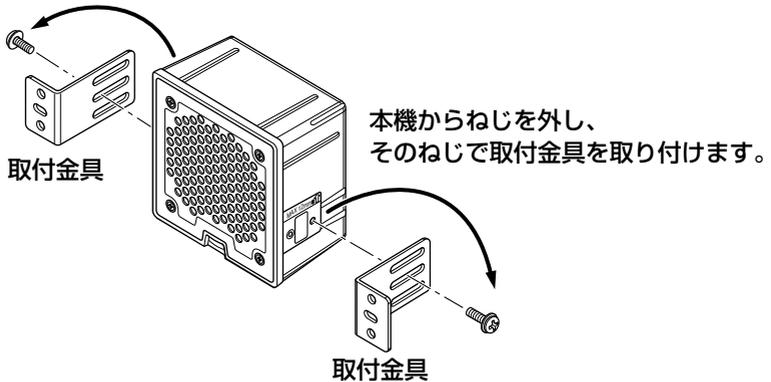
前面からねじ止めして設置する

- 取付金具には取付ねじ (付属品) 用のM5タップとインチねじ1/4-20UNCタップが配置されています。付属の取付ねじ以外でも、インチねじ1/4-20UNCの取付ねじ2本で本機を取り付けることができます。
(締付トルク: $2 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $20.4 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ })
以下は取付ねじ (M5) (付属品) を使用する場合の取付方法です。

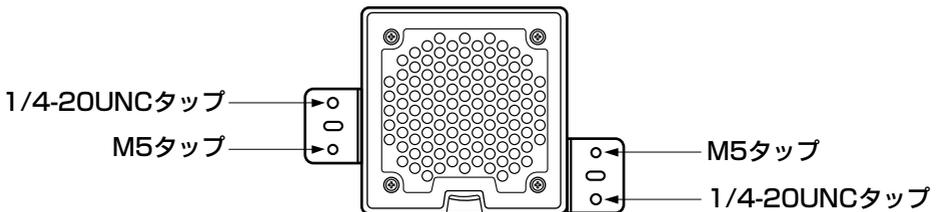
STEP1

本機に取付金具2個を取り付ける。

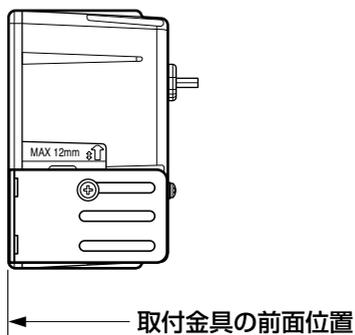
- 本機に取り付けられているねじ (M4) 2本を外して、そのねじで取付金具を取り付けてください。(締付トルク: $1.2 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $10.2 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ })
※ねじを外したままにしないでください。ねじ穴からノイズが発生し、音響性能に影響します。



- イラストのように左右で取付金具をずらして取り付けると、ねじの高さを揃えることができます。



- 取付金具の前面が本機の前面と揃うように取り付けてください。
※揃わないと本機がオーダーポストに密着できず、オーダーポスト内への音漏れの原因になります。

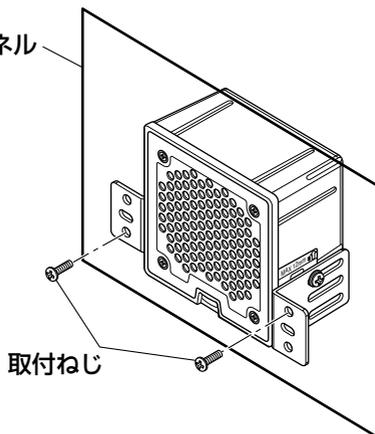


STEP2

本機をオーダーポストに取り付ける。

- オーダーポストの開口の近くに取付ねじを通す穴 ($\phi 6$ mm) を2か所開けてください。
穴の位置と寸法は31ページの外觀図 (取付寸法) をお読みください。オーダーポストの開口に本機の音孔がすべて納まるよう正確に穴を開けてください。
- 取付ねじ (M5) (付属品) 2本を使ってオーダーポストに本機を取り付けてください。(締付トルク : $2 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $20.4 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ })

オーダーポストの前面パネル



本機の設置（つづき）

重要

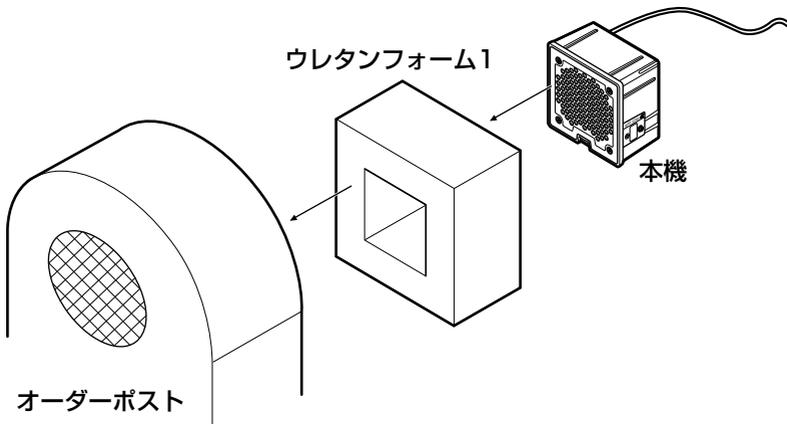
- 付属の取付ねじ以外を使用して取り付ける場合は、ステンレス製かメッキ処理がされた鉄製のねじを使用してください。
- 落下を防止するため、取付ねじは取付金具の裏側まで貫通する長さが必要です。
- 取り付け後、不安定な個所がないか、またすべてのねじが締まっているか確認してください。
- 取り付け個所および本機の周辺から、反響音や異常音が発生しないように十分注意して設置してください。

ウレタンフォームを使用した設置例

STEP1

ウレタンフォーム1（付属品）に本機を入れオーダーポスト内に設置する。

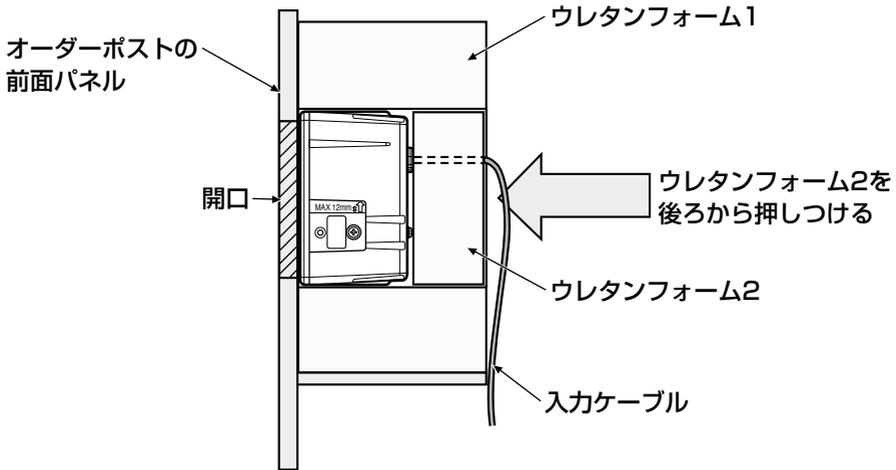
- オーダーポストの開口に本機の音孔がすべておさまるように設置してください。ウレタンフォーム1がオーダーポストよりも大きい場合は、カッターやナイフなどでウレタンフォーム形状を加工してオーダーポスト内に収めてください。



STEP2

ウレタンフォーム2（付属品）で本機の後面を押し込みます。

- 本機前面とオーダーポストが密着するように、本機の後面からウレタンフォーム2を押し込みます。ウレタンフォーム2がオーダーポストよりも大きい場合は、ウレタンフォーム形状を加工してオーダーポスト内に収めてください。ケーブルはウレタンフォーム1とウレタンフォーム2の間を通してください。



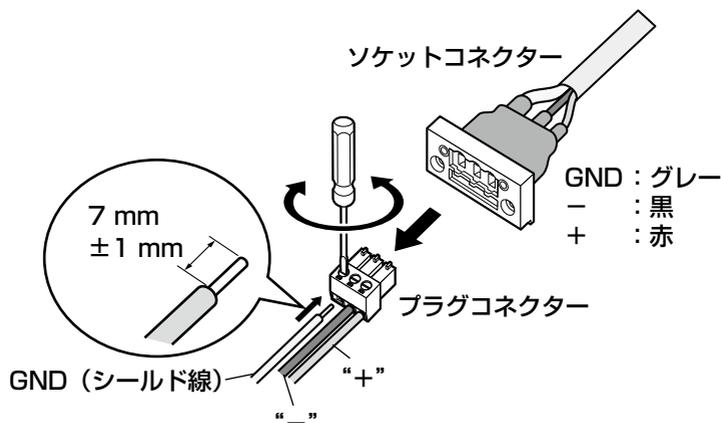
- ウレタンフォーム1、ウレタンフォーム2、ガスケット、風防は長期使用により劣化します。定期的に点検を行い交換してください。点検・交換は販売店にご依頼ください。

配線のしかた

以下の説明は、有資格者が作業を行うためのものです。感電を防ぐため、設置に関わる作業は、有資格者が行ってください。

本機への配線

- マイクロホン用にはシールド線を使用してください。スピーカー用はシールドがない線でも使用できます。
- センターモジュールからのケーブルを付属のプラグコネクタに接続します。プラグコネクタは、本機のケーブル先端のソケットコネクタに差し込まれています（出荷状態）。配線をする前に、プラグコネクタからソケットコネクタを取り外してください。
- プラグコネクタは左側から、GND（シールド）、-、+の順に配線します。スピーカー用として使用する場合は、シールド線（GND）は接続する必要はありません（接続しても問題はありません）。



STEP1

マイナスドライバーを使用して、プラグコネクタの上面のねじ（M2.5）を緩めます。ケーブル先端の被ふくをはがし、プラグコネクタに挿入します。
被ふくをむく長さ：7 mm ± 1 mm

STEP2

マイナスドライバーを使用して緩めていたねじをしっかりと締めます。

各ケーブルについて、上記の手順を繰り返します。

(締付トルク：0.49 N・m～0.59 N・m {5 kgf・cm～6 kgf・cm})

STEP3

ソケットコネクタに配線を済ませたプラグコネクタを取り付けます。

メモ

- プラグコネクタはしっかりとソケットコネクタに差し込んでください。

ケーブル

- プラグコネクタ（付属品）に適合するケーブル断面積は、 $1.3 \text{ mm}^2 \sim 0.1 \text{ mm}^2$ （AWG16-AWG28）です。
- マイクロホン用を使用する場合、上記の条件を満たすシールド線を使用してください。
- スピーカー用を使用する場合、 $1.3 \text{ mm}^2 \sim 0.5 \text{ mm}^2$ （AWG16-AWG20）のケーブルを使用してください。設置場所に依じて、この範囲内でできるだけ太いケーブルを選んでください。シールドがないケーブルでも使用可能です。
- ケーブル先端ははんだ付けしないでください。ねじが緩む可能性があります。

接続時の注意点

- 電源を切ってから行ってください。
- 極性の向きを確認してください。極性を間違えて配線すると、トラブルが発生します。
- 火災や感電の原因になりますので、破損したケーブルを使用しないでください。

設置後の確認

- センターモジュールの取扱説明書に従って、スピーカー用とマイクロホン用の音量を適切に調節してください。
- 音質が明瞭であるか、ハウリングが起こらないかなど確認してください。

故障かな!?

修理を依頼される前に、以下の内容をご確認ください。

これらの処置をしても直らないときやこの表以外の症状のとき、または工事に関係する内容のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

現象	原因・対策	参照ページ
音が出ない	● 正しく配線されてますか スピーカー用、マイクロホン用の配線が正しく接続されているか確認してください。	26、27、 28
	● センターモジュールの電源が入っていますか？ センターモジュールの電源を入れてください。	センター モジュールの 取扱説明書
	● センターモジュールの音量が最小になっていませんか？ センターモジュールの音量を上げ、最適な音量に調節してください。	

仕様

スピーカーとして

音圧レベル 90 dB (1 W、1 m、Typical)

インピーダンス 8 Ω

周波数特性 250 Hz~15000 Hz (-10 dB、Typical)

電力容量 5 W (RMS*)

マイクロホンとして

感度 -52 dB (0 dB=1 V/Pa、1 kHz、Typical)

周波数特性 100 Hz~6000 Hz (-10 dB、Typical)

その他

入力/出力 より線、コネクタ付き
ケーブル
3芯シールド線 約2700 mm
被ふく内部：赤：+
黒：-
グレー：GND

コネクタ
ユーロブロック3Pコネクタ

使用温度範囲 -20 °C~+50 °C

寸法 幅 114 mm 高さ 114 mm 奥行き 70 mm
(突起部を除く)

質量 約1.0 kg (取付金具除く)
約1.2 kg (取付金具含む)

仕上げ 樹脂製、黒色

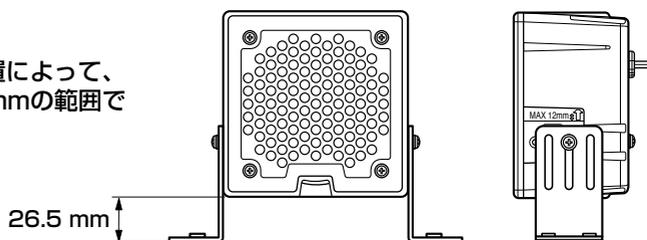
※International Electrotechnical Commission (IEC) 規格 IEC60268-5:2003+A1:2007(E)E)に規定された定格ノイズ電力です。

記載の寸法および質量は近似値です。

製品仕様は予告なく変更することがあります。

外観図 (つづき)

取付金具の取付位置によって、
高さを0～26.5 mmの範囲で
調節できます。



使いかた・お手入れ・修理などは

■まず、お買い求め先へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電 話 () —

お買い上げ日 年 月 日

修理を依頼されるときは

「故障かな!？」(29ページ)でご確認のあと、直らないときは、まずスピーカーケーブルを抜いて、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

●製品名 スピーカーマイクロホン

●品 番 WX-CS460

●故障の
状 況 できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

保証とアフターサービス（つづき）

- 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 **7年**

当社は、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後7年保有しています。

アフターサービスについて、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店または保証書表面に記載されています連絡先へお問い合わせください。

長期間使用に関するお願い

安全にお使いいただくために、販売店または施工業者による定期的な点検をお願いします。

本機を長年お使いの場合、外観上は異常がなくても、使用環境によっては部品が劣化している可能性があります、故障したり、事故につながることもあります。

下記のような状態ではないか、日常的に確認してください。

特に10年を超えてお使いの場合は、定期的な点検回数を増やすとともに買い換えの検討をお願いします。詳しくは、販売店または施工業者に相談してください。

このような状態ではありませんか？

- 煙が出たり、こげくさいにおいや異常な音がする。
- 電源コード・電源プラグ・ACアダプターが異常に熱い。または割れやキズがある。
- 製品に触るとビリビリと電気を感ずる。
- 電源を入れても、映像や音*が出てこない。
- その他の異常・故障がある。

直ちに使用を中止してください

故障や事故防止のため、**電源を切り**、必ず販売店または施工業者に**点検**や**撤去**を依頼してください。

※：音声対応していないモデルもあります。

取扱説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■ 使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■ その他ご不明な点は下記へご相談ください。

システムお客様相談センター

電話 フリーダイヤル  **0120-878-410** バナハ ヨイフ 受付：9時～17時30分
(土・日・祝祭日は受付のみ)
※携帯電話・PHSからのご利用になれます。

ホームページからのお問い合わせは
https://biz.panasonic.com/jp-ja/support_cs-contact

ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック コネクト株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくためのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック コネクト株式会社

〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号